

事業年度

1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日

12月31日

中間配当金受領株主確定日

6月30日

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人、特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183 - 0044 東京都府中市日鋼町1-1
お問合せ先：0120-232-711

上場証券取引所

東京証券取引所スタンダード市場

公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <https://convum.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第74期 事業報告書

2024年1月1日 ▶ 2024年12月31日

CONVUM
コンバム株式会社



e・ハンド electric (電動)
easy (簡単取付)
eco-friendly (環境配慮)

電動吸着ハンド (e・ハンド) SGEシリーズ



真空吸着機器のパイオニアメーカーとして 魅力ある製品づくりを通じて、 社会から信頼される企業、 継続的な企業成長を目指してまいります。

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
2024年3月22日に代表取締役社長に就任いたしました佐藤穰で
ございます。

社長就任にあたりまして、皆さまに謹んでご挨拶を申し上げます。
今後も高水準の品質を維持しながら、新製品開発に注力し“CONVUM”
を未来に向け絶え間なく進化させていきたいと考えております。

株主の皆さま、従業員、そして多くのステークホルダーの皆さまととも
に、お客様のご要望にお応えし、継続的な企業成長を目指してまいります。

ここに、第74期（2024年1月1日～2024年12月31日）の事業概況を
ご報告申し上げます。

2025年3月

代表取締役社長 佐藤 穰

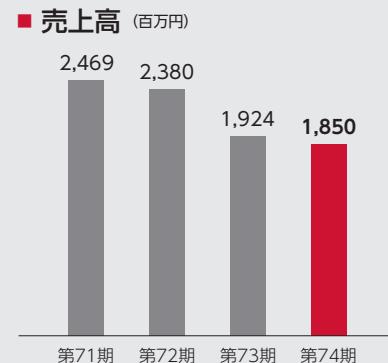
経営理念

人を大切にし、創造性豊かなアイデアと顧客ニーズの融合により
豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます。

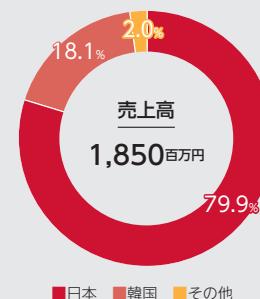
企業理念

- お客様を大事にする
- 最適な労働環境の整備を通じて従業員一人一人が安心して働ける
職場作り
- 各人のアイデアと顧客ニーズの融合による開発をモットーとする
- 他社との提携を推進し、これにより得られた利益は分け合う
- ガラス張りの経営
- 職場内のコミュニケーション（報・連・相）の重視
- 仲間同士が信頼しあう職場作り

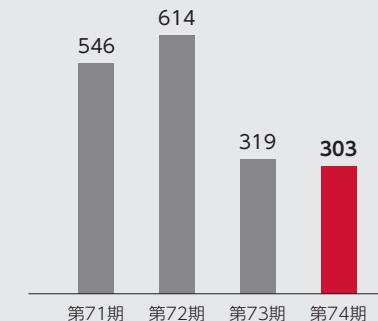
連結業績ハイライト



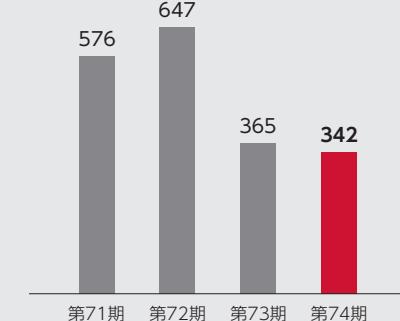
地域別売上高比率



営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



市場変化を柔軟に対応

世界情勢が急激な変化を進む中で、我々を取り巻く環境も大きな変革へ突入しております。主力製品の真空機器の使用用途も拡大しております。当社は2025年で75期を迎えることになりました。「コンバム」というブランドとともに、新しい市場への踏み込むスピードを速め、環境変化へ柔軟に対応してまいります。高い品質での製品の投入を絶え間なく続けるため、人材育成・効率化生産を軸に、お客様、株主の皆さまの満足度を高める所存です。今後とも一層のご愛顧を賜りたく、何卒宜しくお願いいたします。

トップインタビュー

Q①—第74期の業績についてご説明ください。

第74期の連結売上高については、1,850百万円（前年同期比96.2%）となりました。国内市場においては、前半は半導体製造装置及びメンテナンス市場の需要減少がありましたが、後半には徐々に回復傾向となりました。生産設備の省人化、自動化の流れでのロボットハンド関連製品の需要は旺盛であり、新規顧客の取り込みを中心に営業活動を展開し、売上高は1,535百万円（前年同期比98.0%）となりました。

韓国市場においては、半導体製造装置の需要減退を受けましたが、ソーラーパネル、カメラレンズ及び2次電池関連を中心に営業活動を展開し、売上高は385百万円（前年同期比104.4%）となりました。

タイでは、自動車関連の需要減速の影響を受け、ロボットシステム関連設備、食品関連設備への製品投入を積極的に行いましたが、売上高は38百万円（前年同期比71.8%）となりました。

利益面においては、価格改定による販売価格の見直しと製造コスト削減及び経費全般の見直しを進め、連結経常利

トップインタビュー

益は342百万円（前年同期比93.8%）、親会社株主に帰属する当期純利益は248百万円（前年同期比104.4%）となりました。

Q②—今期の見通しと、主な取り組みについてお聞かせください。

第75期の連結業績予想は、連結売上高1,979百万円、連結経常利益は307百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は220百万円を見込んでおります。これらの目標を達成するために、以下の取り組みを実施してまいります。

当社独自の真空吸着関連製品に特化した基礎研究と新製品開発を推し進めます。

原材料費だけでなく人件費の高騰もありますが、生産工程の自動化の推進、生産効率の改善、品質の安定を徹底的に取り組んでまいります。

また、アジア地区以外での海外拡販に向け、販売代理店の無い地域に向けての海外Eコマースの推進と、新たなパートナー作りを進め、新たな市場づくりを進めてまいります。

Q③—最後に株主の皆さまへメッセージをお願いいたします。

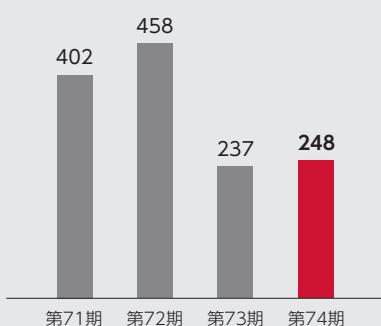
私たちは、株主の皆さまならびにステークホルダーの方々のご期待に応えるため、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。今後はスピード感を重要視し、魅力ある新製品の開発と市場投入を積極的に推し進めてまいります。経営理念にあります、豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます。

株主の皆さまへの利益配分につきましては、業績及び将来に向けた投資資源の確保を考慮した株主還元を基本方針としております。

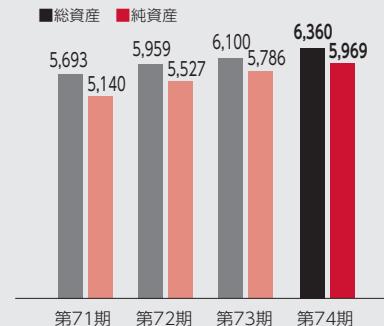
このような方針のもと、第74期の1株当たり配当金につきましては、中間配当金25円00銭、期末配当金25円00銭、年間配当金50円00銭といたしましたので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆さまのご期待に沿えるよう、経営目標達成のために全力を挙げて取り組んでまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

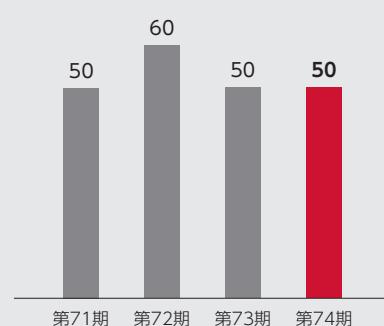
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



■ 総資産／純資産 (百万円)



■ 配当金 (円)



トピックス

岩手県で企業コマーシャルのTV放映開始

2024年11月より岩手県において、TVコマーシャルの放映が始まりました。主力工場である岩手県での人材採用と企業ブランドの向上に向けて取り組んでまいります。



エジェクタ (コンバム)

売上高 6億円

EJECTOR (CONVUM)

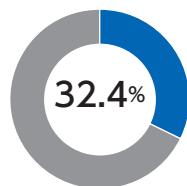
エジェクタは圧縮空気を利用して真空を発生させる真空発生器で、圧縮空気をノズルから放出 (エジェクト) させることから由来しております。

About CONVUM

コンバムとはコンプレッサからの圧縮空気でバキューム (真空) を発生させること、バキュームをコントロールできる装置 (コントロール バキューム) をイメージして創り出した造語です。CONVUMは当社の登録商標です。



売上構成比



半導体製造装置、各種自動機の生産設備の稼働率の向上があり、メンテナンス需要が回復し、当期の連結売上高は600百万円となりました。全製品に占める売上高構成比は32.4%となり、前年同期比1.9ポイント低下いたしました。

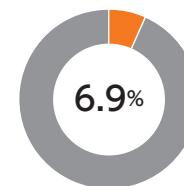
圧力センサ

売上高 1億28百万円

SENSOR

気体や液体の圧力の変化を内部の感圧素子にて測定し電気信号に変換、出力するものです。当社の圧力センサは空気圧を対象とし、吸着確認・着座確認・元圧管理など様々な用途に使用されています。

売上構成比



一般機械向け及び半導体製造装置向けの需要減少により、需要は軟調に推移いたしました。その結果、当期の連結売上高は128百万円となりました。また、売上高構成比は6.9%となり、前年同期比24.8ポイント低下いたしました。



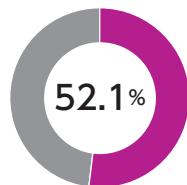
吸着パッド

売上高 9億64百万円

PAD

吸着パッドは真空発生機器より得られる真空 (負圧) を利用してワーク (吸着物) を吸着し、持ち上げる製品です。「吸着パッド」の他、「バキュームパッド」「サクシオンパッド」「サクシオンカップ」「カップ」とも呼ばれています。パッドは人間で例えると「手」(または指) とも言えます。

売上構成比



設備投資需要も持ち直し、既存設備の生産活動の高まりに伴い、半導体製造設備向けの大口需要がありました。ロボット関連業界向けの新製品の需要拡大もあり、当期の連結売上高は964百万円となりました。売上高構成比は52.1%となり、前年同期比3.4ポイント低下いたしました。



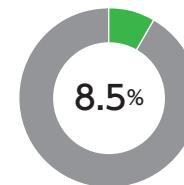
FA機器その他

売上高 1億56百万円

ROBOT-HAND

各種ロボットに取付けるロボットハンドです。各ロボットメーカーの各種ロボットへ取り付け可能なフランジを多数用意しているため、お客様での設計が不要で、すぐにお使いいただくことが可能です。

売上構成比



ロボットハンドの新製品市場投入及び認知度増加による売り上げ拡大が顕著になりました。その結果、当期の連結売上高は156百万円となりました。売上高構成比は8.5%となり、前年同期比10.1ポイント増加いたしました。



当社の製品は、FA(ファクトリーオートメーション)機器として、様々な業種で製造工程や装置に組み込まれご使用いただいています。

SGR 袋物用吸着
ハンドでの液体袋搬送



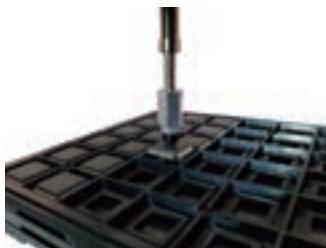
HGL 食品専用パッド
での吸着搬送



SGP エジェクター体型ロボット
ハンドでの重量物搬送



コンバムの製品や技術は様々な産業の
生産現場で活躍。
生産の自動化と品質の向上に貢献しています。



ポイント!

静電気対策 (ESD対策) は電子デバイスを扱う製造工程で必須となりつつあります。
当社独自設計の材質「Elec-Con」を新開発し、多くの電子部品の吸着搬送で使用されています。
一般的な規格より厳しい表面抵抗値 $1.0 \times 10^6 \sim 9.9 \times 10^9 \Omega$ で管理し、全数検査し出荷しております。

【トピックス①】 2025年新たなブランドステートメント及び会社ロゴマークを制定いたしました



新ロゴには、当社のブランドコンセプト「魅力ある製品づくりを地域とともに、世界へ」を体現するとともに、魅力的な創造で人々に輝きを与えるというポジティブなメッセージを込めております。開発型企業として成長を続け、すべてのステークホルダーから信頼いただけるメーカーを目指すと同時にものづくりを通じて地域社会への貢献に努めてまいります。

【トピックス②】 岩手事業所第5工場を增強いたしました

岩手事業所第5工場に、新たにゴム製品の生産設備・検査装置を導入し、吸着パッドの生産能力が従来比15%UPを実現しました。成長が見込まれる半導体市場向けに開発した「ESDパッド(静電気放電対策パッド)」、食品工場向けに開発した「ハイジエニックパッド(抗菌パッド)」は各社より好評をいただき、今後、販売数の増加が見込まれます。当社はこのような需要に対して、十分な生産能力を確保し顧客要求に応えてまいります。

150t真空プレス機



ESDパッド表面抵抗値検査装置



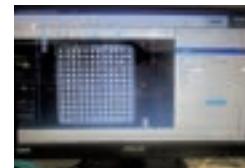
6incオープンロール機



ゴム材料自動切断機



吸着パッド外観検査装置



科目	第73期 2023年12月31日現在	第74期 2024年12月31日現在
資産の部		
流動資産	3,452,678	3,657,154
固定資産	2,647,696	2,703,488
資産合計	6,100,375	6,360,642
負債の部		
流動負債	159,649	234,138
固定負債	153,815	156,848
負債合計	313,464	390,986
純資産の部		
株主資本	5,471,811	5,641,983
その他の包括利益累計額	269,350	285,760
非支配株主持分	45,749	41,911
純資産合計	5,786,911	5,969,656
負債純資産合計	6,100,375	6,360,642

科目	第73期 2023年1月1日～ 2023年12月31日	第74期 2024年1月1日～ 2024年12月31日
売上高	1,924,052	1,850,703
売上総利益	983,637	939,928
販売費及び一般管理費	663,807	636,320
営業利益	319,829	303,608
経常利益	365,489	342,723
税金等調整前当期純利益	349,544	344,569
当期純利益	236,824	240,104
非支配株主に帰属する当期純損失	△657	△7,895
親会社株主に帰属する当期純利益	237,481	248,000

第74期 決算のポイント

- 連結売上高1,850百万円(前年同期比96.2%)、連結営業利益303百万円(前年同期比95.0%)ですが、単体(個別経営成績)は、売上高1,535百万円(前年同期比98.0%)、営業利益302百万円(前年同期比100.3%)であり、韓国及びタイの連結子会社の営業利益の減少を受けております。
- 純資産は、主に利益剰余金が170百万円増加、その他有価証券評価差額金が23百万円増加したことにより純資産は5,969百万円、自己資本比率は93.2%となりました。

科目	第73期 2023年1月1日～ 2023年12月31日	第74期 2024年1月1日～ 2024年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	460,566	481,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△185,614	△189,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,763	△75,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,285	10,398
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	200,474	226,466
現金及び現金同等物の期首残高	2,232,765	2,433,239
現金及び現金同等物の期末残高	2,433,239	2,659,706

社名	コンバム株式会社
創立(設立)	1951年4月16日
資本金	7億4,812万5千円
本社所在地	東京都大田区下丸子2丁目6番18号
国内事業所	岩手、東京、大阪
連結子会社	CONVUM KOREA CO.,LTD. CONVUM (THAILAND) CO.,LTD.
従業員数	88名(連結従業員数)

代表取締役社長	佐藤 穰
専務取締役	國松 孝行
取締役	杉山 達郎 *
常勤監査役	佐藤 伸一
監査役	友田 勉 *
監査役	牧村 博一 *

*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
6,600,000株	1,657,000株 (その内自己株式 100,448株)	926名 (前期末比 107名減)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊勢興産株式会社	282,760	18.17
伊勢 すが子	126,020	8.10
光通信株式会社	114,400	7.35
伊勢 幸治	82,410	5.29
いずも産業株式会社	53,300	3.42
MTAsia株式会社	36,000	2.31
神谷 信一	35,100	2.25
中西 京子	31,100	2.00
株式会社日伝	28,000	1.80
小川 敦	26,700	1.72

(注) 1. 当社は自己株式を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は発行済株式総数から自己株式数を控除して計算しております。

ホームページ
のご案内



当社では、ホームページにてIR情報をはじめとして、企業情報を随時更新しております。ぜひご覧ください。

<https://convum.co.jp>

